平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	9	ー	6

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	道営畑地帯総合整備事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		農務係
	管理職	職名	課 長	作成者	職名	技 師
		氏名	石 井 弘 道		氏名	辻 栄 浩 二
事業の概要	基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を支持・増進し、生活基盤施設の整備を進め、産業と生活空間の快適さを図る。			全体計画 /期間限定複数年度（平成 22 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	32,655 千円
					事業費計	32,655 千円
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他	）
第５期 総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～			
	基本施策	1	農業の振興			
	単位施策	1	土地基盤の充実			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	32,900 千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	951 千円	3,522 千円	14,119 千円
	合計	千円	千円	951 千円	3,522 千円	47,019 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	営農用水受益者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	共栄中雄武浄水場の老朽化	計画策定のための基本調査		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	安定した水の供給	① 基本調査回数/実施回数	目標年度	平成23年度
			目 標 値	2 回
			実 績 値	2 回
			達 成 度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	ライフラインに対する信頼（安心）の獲得	②	目標年度	
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	%

内　容（どのような手段で何を行ったか）	
上沢木地区の計画樹立	北海道と町が費用を負担し、平成24年度の事業採択に向けて計画書を作成した。
共栄中雄武浄水場の調査設計	平成24年度に計装機器更新工事を行うための調査設計を行った。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	上沢木地区営農用水の老朽化による不具合を解消するためには、道営営農用水事業の採択を受けて整備するのが効果的であり、そのためには北海道や町が計画書を作成し、採択に向けた取り組みを行う必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	平成24年度の地区採択に向けた計画書を作成することができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	道営事業として採択されるよう計画を樹立するものであって、北海道と町がそれぞれ費用負担し、施設改修の協議を行っており、事務の効率化と省力化が図られたものと判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	地域農業の振興や生活基盤の整備を図る事業であって、造成された施設の維持管理は地域の水道利用組合が担っている。また、施設の電気代、薬品代等の維持管理費は各組合員が負担しており、公平であると判断する。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画どおりの事業展開となっているが、安定した水の供給に至るまでは、行政主導で実施する必要がある。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
計画どおりの事業展開となっているが、安定した水の供給に至るまでは、行政主導で実施する必要がある		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）